

## 地域防災拠点や医療拠点等の重要施設に接続する 上下水道施設の耐震化状況を公表します

上下水道は市民の生命や暮らしを支えるインフラであり、令和6年能登半島地震では避難所や医療施設などの重要施設に接続する水道・下水道の管路について、耐震性の重要性が改めて明らかになったところです。

これまで本市においても、重要施設に接続する水道・下水道の管路の耐震化を進めており、これら施設の耐震化状況について公表します。

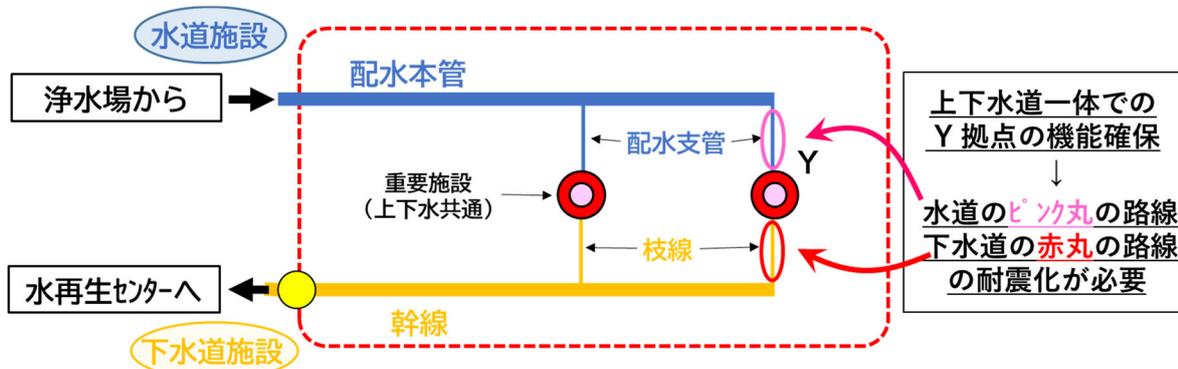
### 1 本市で位置付けている重要施設

地域防災拠点（459箇所）、応急復旧活動拠点（41箇所）、災害拠点病院等（79箇所）の合計579箇所

### 2 重要施設に接続する水道・下水道の管路の耐震化の考え方

過去の大規模地震では、管径の小さな管（水道：配水支管、下水道：枝線）に被害が集中しており、管径の大きな管（水道：配水本管、下水道：幹線）の機能はほぼ確保されています。これらの状況を踏まえ、本市では、重要施設に接続する管径の小さな管を対象に耐震化を進めています。

#### 【上下水道一体での重要施設における機能確保の考え方】



### 3 耐震化状況

重要施設に接続する水道・下水道の管路の耐震化は、令和5年度末時点で約6割完了しています。

#### 【重要施設に接続する水道・下水道管路の耐震化率】

配水支管（水道）・枝線（下水道）の双方ともに耐震化が終わっている重要施設 352箇所  
 $352（箇所） / 579（箇所） = 60.8\%$

※水道は耐震化されていない施設について、災害用地下給水タンク、受水槽などにより給水機能を確保します。なお、ご自宅から500m圏内に災害時に飲料水を得られる「災害時給水所」（市内563箇所（重要施設と一部重複あり））を整備しています。

裏面あり



#### 4 今後の予定

引き続き重要施設に接続する水道・下水道の管路の耐震化を進めます。

水道は令和9年度までに重要施設21箇所の配水支管の耐震化、下水道は令和11年度までに全ての重要施設で枝線の耐震化を進めます。

お問合せ先			
(下水道に関する事)	下水道河川局マネジメント推進課担当課長	小林 史幸	Tel 045-671-2613
(水道に関する事)	水道局配水課長	足利 洋明	Tel 045-671-3063



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

